

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	重機ボランティアオペレーター育成事業		
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人 絆 JAPAN 諏訪郡原村 16267-521		
事業区分	(4) 安全・安心な地域づくり		
事業タイプ	ソフト		
総事業費	956,411	円 (うち支援金 :	762,000 円)

事業内容

近年全国的に自然災害が多発しています。その中で災害復旧に関して災害ボランティアの要請が大きくなっています。台風19号千曲川災害以降技術系ボランティアと呼ばれる重機オペレーター・建築土木関係等のボランティアの需要が高まっています。そこで、当団体の所有する小型車両系建築機械(ミニバックホー2t)を使い重機ボランティアオペレーターの育成を行いました。

掘削・積込・運搬作業・埋め戻し整地作業・アイアンホークによる瓦礫撤去作業・メンテナンス、アタッチメントの交換作業等を行いました。講習は反復練習を最低8時間以上取り組んで貰いました。

事業効果

参加者は、車両系建設機械資格所有者で実務経験が殆ど無い人(俗にいうペーパードライバー)、ボランティア経験は有るが始めて重機を扱う人、災害ボランティアに意欲的な初心者で、全ての参加者(25名)が長時間運転をする事により、よりスムーズな作業が出来るようになりました。

絆JAPANの災害ボランティアとして登録して下さった方が、12名、講習後車両系建設機械の資格を取得した人が4名実現しました。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

更に重機を使った災害復旧技術の向上、防災意識の啓蒙、地元の災害ボランティアの技術や知識の向上を図ります。

また、今後は重機のみならず例えばチェーンソーの講習や、簡易テントの作り方、救命救急の方法や、ハイゼックス炊飯のやり方等災害時に役立つ様々なスキルを住民の皆さまに身に付けて頂くべく内容を広げて事業を進めて行く予定です。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事ハイゼックス炊飯の方法業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【掘削練習】

【目標・ねらい】

- ① 災害時の技術系ボランティアの育成
- ② 受講終了後には登録をして貰い有事の際には協力を要請出来る体制作り

※自己評価 【 A 】

【理由】

予定を上回る参加者が有り、再受講者や災害支援登録者も10名を上回った。